

成果の説明書

(氏名) 山崎 薫里	(学部) 経済学部
1 重要事項 研究 「単調作用素の構造の解明と選好理論への応用」の研究（科学研究費補助金，基盤研究(C)，研究代表者）として，幾つかの結果を得た。シンポジウム等での発表を通して得られたコメントを精査し，投稿論文として準備中である。 ✓ 講演 1 山崎薫里, Exchange economy from viewpoints of general topology, 22021. 12. 6, 2021 年度ジェネラルトポロジーシンポジウム，高崎経済大学（オンライン）。 2 山崎薫里, Exchange economy from viewpoints of general topology, 22022. 3. 28, 2021 年度日本数学会年会，埼玉大学（開催方法変更のため，アブストラクト投稿による発表）。 ✓ 研究集会主催 2021 年度ジェネラルトポロジーシンポジウム，2021. 12. 6-12. 7, 高崎経済大学（オンライン），川村一宏氏（筑波大学）との共同主催。 ✓ その他 国際専門誌のレフリー，および, Math Reviews のレビューアーを務めた。 教育 ✓ 対面授業・別教室配信・オンデマンド録画の同時授業においては，リアクションペーパー等で学生の意見を吸い上げて学習効果を高める工夫をした。 ✓ 演習では就職活動等で参加できない学生にハイブリッドの対応も行った。結果的に例年よりも出席率が高く, 4 年生は全員が卒業論文を提出することができた。	
2 その他の事項 情報基盤センター長を務めた。	
3 次年度以降の計画・抱負 本年度の研究を継続し，結果を論文としてまとめたい。 学生に授業に集中してもらい学習効果を高める工夫をしていきたい。	